

**Japan EV Festival 2017**  
Reducing CO2  
**「第23回日本EVフェスティバル」開催のお知らせ**  
**2017年11月3日(金・祝)筑波サーキット・コース1000にて**  
**“CO<sub>2</sub>削減&アクセル全開！”**

23回目を迎えるEVフェスティバルがまもなく開幕。

「コンバートEV1時間ディスタンスチャレンジ」「ERK30分ディスタンスチャレンジ」といった恒例のトライアルに加え、昨年から新たに仲間入りした催しが

今年もサーキットを賑わせます。

「自動車メーカー製EVオーナーによるタイム・アタック」「自動運転競技車タイムアタック」

「EV、プラグイン・ハイブリッド車、FCVのサーキット試乗会」etc.

EVを学び、遊び尽くす、エキサイティングなコンテンツ盛りだくさんのイベントです！

一般社団法人 日本EVクラブでは、今年で23回目を迎えるEVの祭典「日本EVフェスティバル」を開催します。日本EVフェスティバルは、自分たちで作り上げた改造EVを持ち寄ってレースをしたり、アイデア満載の手作りEVを展示するなど、参加者はもちろん家族や観客も交え、みんなでEVを楽しむ恒例の祭典です。

会場は昨年と同様、筑波サーキットのコース1000で、11月3日(金・祝)に開催します。

主なプログラムは、恒例のコンバートEV1時間ディスタンスチャレンジ、ERK30分ディスタンスチャレンジ、何でもEV展示です。さらに昨年から加わった、メーカー製EVのオーナーによるタイムアタック、話題の自動運転競技車タイムアタックなど、EVをより身近に感じることができます。今年は最速EVデモンストレーションに学生フォーミュラEVが参加。学生手作りのフォーミュラEVがどんな走りを見せるか、今から楽しみです。

なお、環境省の「COOL CHOICE」(地球温暖化対策のための運動)の一環として、下妻市の主催によるEV・プラグインハイブリッド・FCVサーキット試乗会にも注目です。国内外メーカーのEV・PHVをサーキットで運転できる試乗会(e-ドライブレッスン付き)は、EVフェスだけの催しです。

また、かつて日本EVクラブが手がけた、クラブの象徴とも言える2台～フォーミュラEVの「電友1号」と、日本中、急速充電を行いながら旅して回った「EVスーパーセブン」～がよみがえり、サーキット上でその姿を披露します。

筑波サーキットコース1000は、1周1030mの初心者からベテランまで楽しめるコース。コース全体を見渡せるので、迫力あるレースをすぐそばで体感することができます。参加者も見学者も、また大人も子供も一緒に楽しめるアットホームなサーキット・イベントです。

静かなレースでEVを楽しんでもらうと同時に、自動車における環境・エネルギー問題を考え、CO2排出量削減について考える場にしたいと考えています。EVを楽しみながら21世紀のモータリゼー

ションを考慮することのできる祭典です。今年のメインテーマは、もちろんReducing CO2&アクセル全開！です。

イベントの詳細は、ホームページをご覧ください(<http://www.jevc.gr.jp/>)

イベント開催の告知をお願いします。また是非お越しいただきたく、ご案内申し上げます。

\* \* \*

Japan EV Festival 2017は、EVを仲間と心ゆくまで楽しむ祭典。

テーマは、Reducing CO2&アクセル全開！

#### ■開催概要

◇開催日：2017年11月3日(金・祝)8:45～16:00

◇会場：筑波サーキット・コース1000(茨城県下妻市村岡乙159)

◇主催：一般社団法人 日本EVクラブ

◇共催：一般財団法人 日本オートスポーツセンター

◇後援(予定)：環境省、国土交通省、経済産業省、一般財団法人 日本自動車研究所、  
茨城県、茨城県下妻市

◇内容：

(1)コンバート(改造)EV1時間ディスタンスチャレンジ ※エントリー：12台

手作りのコンバートEV(電気自動車)による1時間耐久チャレンジ。バッテリーの種類により鉛電池クラスとリチウムイオン電池クラスの2クラス設けます。クラス混合、ハンディなしで走行し、クラス別に表彰します。ドライバーの人数は無制限。地球温暖化クイズの結果を反映するなど、独自のルールを設けたEVによる新しいモータースポーツです。

(2)ERK30分ディスタンスチャレンジ ※エントリー：16台

手作りの電気レーシングカート(ERK)による30分耐久チャレンジ。バッテリーセット数は無制限、ドライバー人数も無制限。3つのクラス(鉛電池搭載のERK-1、ERK-2クラス、リチウムイオンクラス)が出場します。

(3)何でもEV展示 ※エントリー：2台

EVの可能性にチャレンジする人々を応援します。鹿沼高物理部の立ち乗り型EVはユニークなオリジナルEVです。新しいEVスポーツの提案として、トヨタ東自大の学生フォーミュラEVが初出場します。これらのデモランにも注目です。復活した電友1号(日本EVクラブ・フォーミュラEV)も走行予定です。

(4)最速EVデモンストレーション ※エントリー：2台

コース1000の最速EVのデモのこれまでの記録は、ERKの39秒とエンジンカートより速いくらいです。今年も参加のトヨタ東自大のERKと、初参加の神奈川大学学生フォーミュラEVが、この記録に挑みます。

(5)自動運転競技車タイムアタック ※エントリー：2台

注目の自動運転車を作り、本格的なサーキットで走らせるトライアルはここだけです。ERKベースの2台の自動運転競技車両が走ります。

(6) メーカー製EVオーナーズ・タイムアタック ※エントリー:9台

メーカー製EVのオーナーなら誰でも参加可能なトライアルです。コースを3周して、基準タイムにもっとも近いドライバーが優勝。ただし、基準タイムをオーバーしたら失格というユニークなルールです。

(7) 環境EXPO／EV・プラグインハイブリッド車・FCVサーキット試乗会

EVの最新情報と環境問題をテーマにした展示ブースです。

自動車メーカーなど8社が出展予定。発売を開始した日産新型リーフやBMW MINI Cooper S E Crossover ALL4など話題の車両が登場する予定です。展示ブースでは環境やエネルギーに関連したプレゼンテーションが行われます。

また、環境省「COOL CHOICE」(地球温暖化対策のための運動)の一環として、下妻市の主催によるEV・プラグインハイブリッド・FCVサーキット試乗会を開催します。同乗のジャーナリストが運転の仕方や車両の特徴について指南するe-ドライブレッスン付きのサーキット試乗会です。

■出展企業および試乗車・製品(予定)※順不同

トヨタ(MIRAI、新型プリウスPHV)、三菱(アウトランダーPHEV)、日産(新型リーフ)、アウディ(A3 sportback e-tron)、BMW(i3、MINI Cooper S E Crossover ALL4、225xeアクティブツアー)、フォルクスワーゲン(Golf GTE、Passat GTE)、ホンダ(クラリティ FUEL CELL)、ニチコン(EVパワーステーション、急速充電器)、日本EVクラブ(EVスーパーセブン※同乗試乗)

※試乗会参加ジャーナリスト(予定)※順不同

津々見友彦、片岡英明、斎藤慎輔、石井昌道、斎藤聡、諸星陽一、飯田裕子、まるも亜希子、吉田由美

■ベンチャーテント…日本EVクラブ会員のベンチャー企業による出展ブースです。

OZ MOTORS(ビートルEV)、カレント自動車(株)(コンバートEV・eCURRENT 930T-EV)

(8) Reducing CO2(CO2排出量診断)

CO2排出量診断コンテスト: 来場者の会場までの交通(クルマ、電車、徒歩等)によるCO2排出量を診断します。最もCO2排出量が少なかった方を表彰します。

★開催概要は、ホームページ(<http://www.jevc.gr.jp>)でもご覧いただけます。

☆ 開催概要の内容は、予告無く変更になる場合があります。

☆ 取材ご希望の方は、別紙の取材申込書をお送りください。※締め切り10/23(月)

★問い合わせ先

(一社)日本EVクラブ 代表 館内 端 (担当:日本EVクラブ事務局 石川響子)

〒156-0043東京都世田谷区松原2-20-10-401

TEL 03-5376-8446 FAX 03-5376-5310 <http://www.jevc.gr.jp> E-mail: [info@jevc.gr.jp](mailto:info@jevc.gr.jp)